

# The 2 Chome Times 2023年 3月号

NO1のプレミアムストリートをめざして

NO298号.

2023年・3月・25日



発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス 3月号

編集：企画・商業振興部、編集長：井上晶雄 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

## ★第18回アート作品収蔵式とその作者

4月8日(土)に第18回目となるアートストリート作品収蔵式が行われます。そこで皆様にその作品を創られた松島 巖(マツシマ イワオ)先生について少しご紹介させていただきます。ガラス作家である松島先生は1946年生まれで、現在岡山市在住です。先生の制作の原点は、大原美術館の児島虎次郎氏によるエジプトコレクションの中の古代コアガラス瓶との出会いでした。その製法に挑む事が出発点となり独学で研究、また作り手の視点で試行錯誤した末に、約2000年前に途絶えたとされるコアガラスを現代に甦らせ、以降、古代の遺物に想を得ながらガラス芸術の可能性を探求し続けてこられました。コアガラスは紀元前16世紀にメソポタミアで生まれ、紀元前後の吹きガラスの普及により途絶えてしまったコア技法によるガラス器です。松島先生はその失われた技法を残された品や破片から読み解き、自由な発想と試行錯誤を以て制作・研究を続けてこられたそうです。コアガラスの制作は制約を伴う繊細な工程がいくつもあるため、作品は掌に収まる程の大きさが一般的です。



今回の作品名は「古代からのバトン」です。先生の作品へのコメントをご紹介します。

「ガラスの羽根をまとい、記憶を未来へ運ぶ 滅んだものとまだ表れていないもの あわい  
約2000年前に消えていった古代コアガラスを甦らせ 新たな時を刻む」

先生のコアガラスへの熱いお気持ちが伝わってきます。

皆様もどうぞ収蔵式典を楽しみにして下さい

## ★LIGHT IT UP BLUE 世界172ヶ国が青い光で繋がる

毎年4月2日は「LIGHT IT UP BLUE」として自閉スペクトラム症・発達障害を正しく理解する



ためのブルーアクションの日です。世界各地でランドマークとなる建物を青く照らします。オーティズム(自閉スペクトラム症/ASD)は軽度から重度な状態がありアスペルガー症候群や広汎性発達障害が含まれ、学習障害(LD)や注意欠陥多動性障害(ADHD)などが併存することがあります。外出先でオーティズムのある子どもさんを連れた家族に出会った時、感覚過敏等のストレスで耳をふさいだり、大きな声を出してしまったり、困っている場面に出会った時は是非、温かく見守って欲しいのです。その気持ちはきっとお父さんお母さんに伝わって緊張がときほぐされ、それが子どもに伝わって安心につながることでしょ。LIUBキャンペーンがそんな優しい気持ちを通わせ合うきっかけになればと願っています。皆様も4月2日に建物が青く照らされていれば写真のハロクマを思い出して下さい。この「カラフルさ」は「多様性」を表し、ハロクマが手に持つワンピースのパズルがその多様性を受け入

れる人々の「理解と寛容さ」を表しています。自閉症の方々は大変身近な存在であり、正しく接して行きましょう。

## ★2月に行われた募金活動の浄財がウクライナの方々に手渡されました

3月7日(火)に街創り協議会とファーストの合同定例会で、2月に寒い中を実施されたウクライナへの募金活動で皆様からお預かりさせて頂いた浄財、150万円がウクライナのバレエ団の方々とお世話をされている守屋市議員に手渡しされました。1月にお渡しした120万円に続くものです。今回も日常生活への支援金というよりは避難民の方々がウクライナに帰国される時の費用に充てられます。未だに戦火の真っ只中にあるウクライナに早く終戦の日が訪れることを願いつつ、これからも「連帯」の気持ちで支援活動を続けて行こうと思っています。どうぞ皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## ★新店舗紹介 神戸の真珠専門店 SPOPEL (スポペル) さんオープン!

2022年12月12日に移転リニューアルオープン致しました。世界遺産にも登録されているベトナムのハロン湾で自社養殖した、真珠層が厚巻きで高品質なアコヤ真珠を主軸として、フォーマルからカジュアルジュエリーまで幅広く取り扱っております。当店のブランドラインナップは、次の三つからなります。



- ①【SPOPEL】365日あらゆるシーンで華やげるパールジュエリー
- ②【SPOPELBRIDE】親から子へ受け継ぐフォーマルジュエリー
- ③【DOOY-P】PURE-PEARL-PLAYをコンセプトにユニセックスで遊び心が感じられるバロックパールを用いたジュエリーブランド (Brand New 2022.12)

真珠養殖から製品加工、販売に至るまでを一貫することによる豊富な知識と経験により、自信を持ってお客様に満足頂ける商品をお届けしております。店舗作りにも拘り、アートや自然の要素を取り入れパールが生まれる背景や自然の循環を表現しました。養殖に使用したアコヤ貝の再利用として2階正面ガラスウィンドウには貝そのものを貼り付け壁面アートに。また外壁や内装、什器には粉碎した貝を左官材で練り込みテラゾー仕上げとするなど、様々な角度から真珠というものに興味を持って頂ける空間となっております。男女問わず幅広い世代にもっとパールを身近に感じて頂けると幸いです。真珠振興会の認定プロ資格を持ったスタッフが在籍しておりますので、購入後のお手入れや保管方法などお気軽にご相談ください。真珠ネックレスの糸替えや各種セミオーダー加工も承っておりますので、気軽にお尋ね、お問合せください。皆様のご来店を心よりお待ちしております。



SPOPEL 三宮店 : 営業時間 : 11:00 - 19:00 定休日 : 水曜日

神戸市中央区三宮町2丁目 10-21-2 TEL : 078-393-2254 <https://www.spopel.jp/>

## ★編集後記

今年のアートストリート収蔵式で納められる作品はご紹介した様に松島 巖先生のコアガラスを使った作品ですが、紀元前16世紀にメソポタミアで既に生まれた手法というのが、どこかピラミッドや、古代の謎につながるようなワクワク感があります。当時はおそらく、わらに粘土質の泥などつけて器の型つくったコア(芯)として、その周りに融かしたガラスを被せて形を整えて着色や模様を施した後にゆっくりと冷やして固めてつくっていたと考えられています。最後に耐火粘土のコアを掻き出して取り除けばガラスの器の完成です。模様などは後から描くのではなく、小さなガラスパーツを本体制作中に溶かしつけるのだそうです。瞬間瞬間の研ぎ澄まされた集中力が必要とされる作業なのは想像に難くないですが、私自身の仕事の中でもそれ程の集中力を保っているのかどうか、甚だ自信がありません。コアガラス製作に限らず、すべての職種においてこの「集中力」は大事なのだと改めて感じた次第です。

美しい街 共に歩む ビルメンテナンス

つるかめ管財株式会社 078-371-3589

